

心理臨床センター相談室のご案内

皆さまからのご相談をお待ちしております。また、ご本人だけでなく、ご家族や周りの方、学校の先生方もお気軽にご相談ください。

相談の例

- 学校に行けない・行かない
- ひきこもり
- 反抗・暴力など
- 友人関係や職場での人間関係
- 子どもとの接し方

詳細はお電話でお問い合わせいただくか、本学心理臨床センターHP(<http://www.sgu.ac.jp/cpc/>)をご覧ください。

心理臨床センターのお問い合わせ先

札幌学院大学 心理臨床センターまで
TEL 011-386-9794
(直通・月～土曜日 10:00～16:00)

オープンキャンパスでSGUを体験してみよう!

進学を考えている高校生・保護者・高校教員の方々を対象に、オープンキャンパスを開催致します。

学科説明会や授業体験を通して教育内容を知り、充実した施設設備を見学して学生生活をイメージして下さい。その他にも保護者も対象のガイダンスや入試対策講座などの、多彩なプログラムを用意しています。自慢の学食も無料体験できます。(日程によりプログラムが異なります)

当日は、大学生気分を一日体験してみませんか。詳細は随時、ホームページでもご案内致します。

日時: 2016年 9月25日(日) 13:00～16:00

2016年11月13日(日) 13:00～16:00

2017年 3月20日(月・祝) 13:00～16:00

受付: 札幌学院大学 G館 1階

オープンキャンパスのお問い合わせ先

札幌学院大学 広報入試課まで
(TEL 011-386-8111 (代))
入試フリーダイヤル 0120-816-555

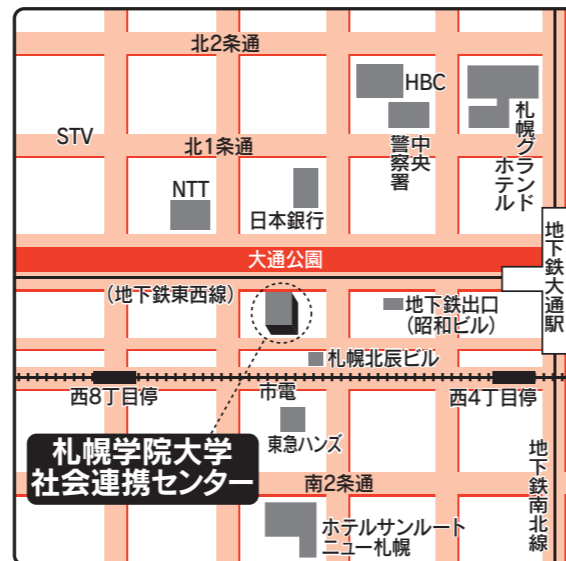
その他、編入学試験制度、社会人入学試験制度、科目等履修生制度、聴講生制度、研究生制度等があります。詳細についてはお問い合わせください。

〒069-8555 江別市文京台11番地 TEL:011-386-8111(代) <http://www.sgu.ac.jp>

コミュニティ・カレッジ
会場案内

〒060-0042
札幌市中央区大通西6丁目(南大通)
札幌学院大学社会連携センタービル

最寄り駅
地下鉄「大通」駅(1番出口)より徒歩にて1分



コミュニティ・カレッジのお問い合わせ先

札幌学院大学社会連携センター

ホームページ <http://www.sgu.ac.jp/rcc>

TEL 011-280-1581

FAX 011-261-1230

窓口時間/13:00～20:00(月～金)

※土曜日は10:00～20:00

札幌学院大学
コミュニティ
カレッジ
COMMUNITY COLLEGE

学ぼう大通で



ともに歩き、未来を創る。

Walk Together

2016年度 後期講座のご案内

一般講座

1. 人と人が「分かり合う」豊かさを考えよう
渡邊 知樹 伊藤 正章
2. イタリア・ルネッサンス
倉田 稔
3. 天才・偉人の精神病理と創造性について
安岡 譽
4. イチヨウ巨樹をめぐる歴史
児島 恭子
5. あせらず、あわてず、あきらめず
／首尾一貫感覚の心理学
品川 博二
6. EU崩壊と世界同時不況か、国際協調の
終わりの始まり?
白根 壽晴
7. 画家たちのあこがれ
守分 美佳

8. 特別支援教育の視点から考える今日の教育と
子育ての課題
二本松 一将 山本 彩 大場 信一
北川 聡子 二通 諭 佐藤 満
塩見 啓一
9. 古代の日朝関係の史跡を歩く
奥谷 浩一

市民セミナー

10. まちの活性化をめぐる
佐藤 克廣
11. 社会学入門—現代の生きづらさを考える—
内田 司
12. 対人コミュニケーションに活かす動機づけ面接法
(MI)とコーチング
北田 雅子
13. 札幌市と近郊のフットパスの今
小川 浩一郎 小川 巖

—— 受講のお申し込み方法については

13～14ページをご覧ください ——

主催 ◆ 札幌学院大学社会連携センター
後援 ◆ 北海道教育委員会・札幌市教育委員会
提携 ◆ 道民カレッジ

(主催 / 北海道教育委員会・北海道立生涯学習推進センター)

市民の皆様

札幌学院大学の前身である札幌文科専門学院は、終戦の翌年、札幌市中島公園内に創設されました。今年、学園の創立70周年にあたります。その本学が、札幌中心部に再び拠点を設けて、生涯学習のための講座「コミュニティ・カレッジ」を開設してから17年目を迎えます。私どもはこれまで市民の皆様のご要望にお応えするとともに、大学らしさを堅持しながら、親しみやすかつわかりやすい講座をモットーに活動を続けてまいりました。これまで継続してこれたのも、ひとえに市民の皆様のご支援とご鞭撻があったからこそであり心より感謝申し上げます。

2016年の後期講座でも多彩な講座をご用意致しました。この学びの場で、市民の皆様とお会いできますよう、そして今後とも私どもの活動に変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

札幌学院大学大学院(修士課程)のご案内

地域社会マネジメント研究科	夜間・土曜授業、札幌都心の大通サテライト教室などの働きながら学べる環境を有し、地域社会の諸課題を研究対象とし、地域・まちづくり系分野、地域・経営・経済分野及び地域会計分野等のそれぞれの分野でスペシャリストとして活躍し得る人材養成を目的としています。CFP®受験資格を得ることも可能です。
法 学 研 究 科	法学を中心に隣接諸科学の研究成果を総合して、鋭い人権感覚と豊かな国際感覚を備えた、地域社会に貢献できる人材及び高度な専門知識と能力を備えた専門的職業人を養成することを目的としています。税理士資格とCFP®受験資格の取得もサポートしています。
臨 床 心 理 学 研 究 科	臨床心理学を中心に心理臨床に関連する諸分野との連携を得ながら、様々な心の問題を心理臨床の視点から取り上げ、臨床心理士という専門的職業人を養成することを目的としています。道内初の臨床心理士資格認定協会一種認定校としての実績を有しています。

修士課程入学試験日程

	一期入試	二期入試
願書受理期間	2016年9月1日(木)～9月15日(木) [必着]	2017年1月11日(水)～1月25日(水) [必着]
試験日	2016年10月1日(土) 臨床心理学研究科(一般・社会人) 法学研究科 2016年10月2日(日) 臨床心理学研究科(一般) 地域社会マネジメント研究科	2017年2月11日(土) 臨床心理学研究科(一般・社会人) 法学研究科 2017年2月12日(日) 臨床心理学研究科(一般) 地域社会マネジメント研究科

出願資格審査日程等

	一 期	二 期
出願受付期間	終了致しました	2016年11月18日(金)～12月1日(木) [必着]

○大学院に入学するには
大学院は、大学で学んだ事を基礎に、より高度な内容を学ぶ教育・研究機関です。大学院(修士課程)に入学するには「学士」の学位(四年制大学卒業)が必要となりますが、出願資格審査に合格することにより、大学を卒業していなくても受験資格を得ることができます。

大学院のお問合せ先:札幌学院大学 教育支援課 TEL 011-386-8111(代)

URL=<http://www.sgu.ac.jp/gra/ga/>

一般講座

講座番号

1

人と人が「分かり合う」豊かさを考えよう

定員 / 70名

受講料 / 3,000円(全3回)

人は本来お互い違う存在であり、自分と違う考え方の人がいるのは当然のことです。しかし、私たちは日々の暮らしの中で無意識のうちに違う考えの人を避けたり否定したりしてはいないでしょうか。考え方の「違い」を大切に、考えの「違い」の根拠(わけ)を共有してはどうでしょう。自分にはないものの見方や考え方に気づき、自分の考え方を直し、広い視野に立つ機会になることでしょうか。考え方の「違い」を大切に人と人が分かり合うことの豊かさや大切さについて考えます。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	考え方の「違い」に着目し、人と人が分かり合う仕組みを考えよう。 10月7日(金) 午後 13:30～15:30	同じ文章を読み同じものを見ても人によってその理解は異なる場合があります。なぜ違いが生まれるのでしょうか。その原因を考えながら、違う考えの人と対立するのではなく、わかり合うことの大切さとその方法を考えます。 講師 / 元札幌学院大学教授 渡邊 知樹
2	モーツァルトのピアノソナタK310の名演奏を聴き比べよう。 10月14日(金) 午後 13:30～15:30	私たちは様々な演奏家の演奏を聴きます。同じ楽譜を演奏しているのに、演奏家によって全く違う演奏に驚くことがあります。演奏者はなぜそのような演奏をするのでしょうか。その背景を探り表現する意味と豊かさを考えます。 講師 / 渡邊 知樹 コーディネーター / 元札幌市立西園小学校長 伊藤 正章
3	人の笑顔が絶えない居酒屋の魅力を考えよう。 10月21日(金) 午後 13:30～15:30	美味しい肴をつまみながら世間話をし、見知らぬ客とも笑顔で酒を酌み交わす。このような空間には、メールでは伝え切れない暮らしの息づかいや温かな人情が満ちています。笑顔で人が集まる居酒屋の魅力について考えます。 講師 / 渡邊 知樹

講師紹介

渡邊 知樹(わたなべ ともし) 1948年生まれ。北海道教育大札幌校卒業。札幌市内及び教育大学附属札幌小学校の教師として勤務、教頭・校長を歴任する。元札幌市小学校教頭会会長・校長会会長。元北海道国語教育連盟委員長。文部科学大臣教育実践者表彰。2008年札幌学院大学人文学部こども発達学科教授。2016年3月退職。「国語科基本教材のモデル指導案」(明治図書)、エッセイ集「時の外側」(柏艸社)

伊藤 正章(いとう まさあき) 1948年生まれ。北海道教育大札幌校卒業後、札幌市内の特別支援教育に携わる。札幌市立新琴似緑小学校・西園小学校校長を歴任する。元北海道特別支援学級教育研究会理事長。札幌市教育実践功績表彰。レコード・CDの膨大な収集家でありクラシック音楽に造詣が深く、特にカナダのピアニスト、グレン・グールドへの理解は深い。



講座番号

2

イタリア・ルネッサンス

定員 / 70名

受講料 / 3,000円(全3回)

ルネッサンスはヨーロッパの近世の始まりでした。これは、学問・思想、文学、絵画・彫刻、建築のうえで、革新でした。ルネッサンスはフィレンツェで生まれました。そこで、現地取材を採り入れながら、写真や絵を取り上げ、ルネッサンスの実体と、歴史、そこで活躍した人物を見ていきます。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	ルネッサンス、フィレンツェ、メディチ、文学 11月21日(月) 午後 13:30~15:30	ルネッサンスとは何か、から始め、それが起きたフィレンツェを紹介し、それを支えたメディチ家を考えていきます。さらに、ダンテ、ペトラルカ、ボッカチオの文学を見ます。
2	ルネッサンスの三大美術家たち 11月28日(月) 午後 13:30~15:30	ボッティチェリから、三大美術家、つまり、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、ラファエロらの作品、絵画や彫刻と、彼らの人となりを追います。
3	ルネッサンスの学問、およびブルネレスキらの建築 12月5日(月) 午後 13:30~15:30	ギリシャ哲学や魔術の復活、そしてブルネレスキらの新しいルネッサンス建築を見ます。

講師 / 元札幌学院大学教授 小樽商科大学名誉教授 倉田 稔

講師紹介

倉田 稔(くらた むのる) 1941年生まれ。慶応義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了。小樽商科大学名誉教授、元札幌学院大学特別専任教授。アムステルダム研究所留学 ウィーン大学留学 オーストリア抵抗研留学。北大、藤女子大、東北大などでも教える。『金融資本論の成立』『ハプスブルク歴史物語』など多数。経済学博士(慶大)。



講座番号

3

—こころの臨床心理学講座—

天才・偉人の精神病理と創造性について

定員 / 70名

受講料 / 6,000円(全4回)

昔から「天才と狂気は紙一重」と言われてきました。それは古い文献(1927年)に、歴史上の天才 35 名のうち、こころが健康な人は 3 名だけだったという報告によるものでしょう。

そうした天才あるいは偉人と呼ばれた人のうち、今回は 6 名の人々の人生をひもとき、こころの病理の問題と彼らの人生における業績、すなわち創造性との関連について、新たな視点からの理解を皆様とともに深めてまいりたいと思います。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	天才・偉人たちの精神病理と創造性—総論的解説— 11月10日(木) 午後 13:30~15:30	天才とか偉人についての精神医学的、心理学的研究は、昔から大きな興味関心の対象です。それは、彼らの創造的偉業が何故できたのかを、彼らの「こころ」のありようから理解しようとするものです。まず、これまでの多くの研究について、文献を紹介し、予備的な知識を学んでまいります。
2	チャールズ・ダーウィン(生物学者, 1809~1882)とアルベルト・アインシュタイン(物理学者, 1879~1955) 11月17日(木) 午後 13:30~15:30	ダーウィンは「種の起源」(1859)で、生物の「進化論」の提唱者として有名です。「人間の進化と性淘汰」(1871)で進化論を完成させました。一方、アインシュタインは、「一般相対性理論」や「E=mc ² 」の公式で有名な人です。この二人の天才科学者について、考えてまいります。
3	シグムント・フロイト(精神科医, 1856~1939)と森田正馬(精神医学者, 1874~1938) 11月24日(木) 午後 13:30~15:30	森田正馬とフロイトは、ともに精神科医で、後者は精神分析を創始し「精神分析療法」を、前者は日本独自の「森田療法」を確立させた人物です。両者とも自らも「神経症」を克服する過程で「こころの治療法」をあみだしました。この二人の人生と業績について考えてまいります。
4	坂本龍馬(「政治家」, 1834~1867)と芥川龍之介(文学者, 1892~1927) 12月1日(木) 午後 13:30~15:30	明治維新に導いた薩長同盟の立役者の坂本龍馬は、政治的先見の才と商才を兼ね備えた人物です。芥川龍之介は芸術至上主義の文学者で有名です。前者は、現在では「発達障害」、後者は「統合失調症」であったと言われています。この二人の創造性について分析してまいります。

講師 / 元札幌学院大学大学院臨床心理学研究科教授 安岡 譽

講師紹介

安岡 譽(やすおか ほまれ) 1944年生まれ。札幌医科大学大学院医学研究科修了(医学博士)。札幌医科大学神経精神科講師、福岡大学講師、札幌佐藤病院副院長、札幌学院大学大学院教授を歴任。共著に、『精神分析を学ぶ』『青年期の精神病理と治療』『精神科症例集』『非行少年』『精神分析事典』『ひきこもる心のケア』など多数。統合失調症や手首自傷(リストカット)、うつ病の研究など多彩であるが、最近の研究テーマは、「こころの本質に関する研究」。現在、札幌学院大学心理臨床センター客員研究員。北海道精神分析研究会会長、北海道精神療法精神分析アカデミー協会会長。精神科医、精神分析医、臨床心理士。



講座番号

4 イチョウ巨樹をめぐる歴史

定員／70名

受講料／2,000円(全2回)

世界中に、樹齢信仰や巨木にまつわる文化があります。人間は巨木に何を見、何を求めたのでしょうか。木は人間にとって利用する資源であり、木に対する思いは自然との関係の葛藤の表れといえるでしょう。日本では地上 1.3mの幹周が 3m 以上のものを巨木というが、6m を超えるものをとくに巨樹とよんでいます。日本文化の伝統では、スギ、マツ、サクラなどが重要視されてきましたが、そこからはずれ独特の存在であるイチョウについて、近年の研究成果をご紹介します。

回	テーマ／講座日	内 容
1	巨樹伝説の変化 10月25日(火) 午後 13:30~15:30	『古事記』『日本書紀』『風土記』のなかの巨樹伝説は時代の変化にともなって変わりました。 近稿「日本の照葉樹林帯における巨木文化」(『「中尾佐助 照葉樹林文化論」の展開」北大出版会2016)をもとにお話しします。
2	イチョウ巨樹の乳信仰 11月1日(火) 午後 13:30~15:30	エノキやスギなどの巨樹にできる瘤を乳房に見立てて育児祈願をする風習がありました。イチョウ巨樹にはチ子とよばれる気根が発達するために独特の乳信仰が広まりましたが、実態はよくわかっていません。現地調査をご紹介します。

講師／札幌学院大学人文学部教授 児島 恭子

講師紹介

児島 恭子(こじま きょうこ) 1954年生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。博士(文学)。早稲田大学・昭和女子大学等非常勤講師を経て札幌学院大学教授。著書「アイヌ民族史の研究」「エミシ・エゾからアイヌへ」等。

講座番号

5 あせらず、あわてず、あきらめず／首尾一貫感覚の心理学

定員／70名

受講料／2,000円(全2回)

健康社会学者 A. アントノフスキーは、私たちがいかにして健康を維持し、増進できるかを「首尾一貫感覚理論」(SOC / sense of coherence)として主張しました。SOC 理論は、①「あせらず」(把握可能感)、②「あわてず」(処理可能感)、③「あきらめず」(有意味感)によって構成されています。

私たちが人生で遭遇する様々なストレスにも負けずに、元気よく生きる為には、どうしたらよいのでしょうか?!

一般市民の皆さんに分かりやすく、「元氣の出る心理学」を解説いたします。

回	テーマ／講座日	内 容
1	首尾一貫感覚とは何か? 10月28日(金) 午後 13:30~15:30	私たちは人生で、さまざまなトラウマ(心的外傷体験)を例外なく抱えて生きています。ある人たちは、トラウマにこだわりながら生き、またある人たちは乗り越えています。その違いはどこにあるのでしょうか?
2	ストレス対処能力 12月16日(金) 午後 13:30~15:30	今日、心身に重大な影響を与えるキラー・ストレスの存在がクローズアップされています。私たちがいかにストレスに対処するかを、簡単なグループ演習を通して検討を試みます。

講師／日本ケア・カウンセリング協会代表理事 臨床心理士 品川 博二

講師紹介

品川 博二(しながわ ひろじ) 臨床心理士。1949年東京生まれ。早稲田大学卒業後、東京教育大学教育相談研究所で臨床研修。磯ヶ谷病院心理室長を経て、2000年内閣府認証NPO法人日本ケア・カウンセリング協会を設立、現在同代表理事。聖路加国際病院精神腫瘍科臨床心理士。東京学芸大学・目白大学大学院他の講師および横浜地裁の精神鑑定人を歴任。著作に『アマデウス・シンドローム』、『死別から共存の心理学』他多数。

講座番号

6 『EU崩壊と世界同時不況か、国際協調の終わりの始まり?』～どうなる、世界情勢と日本経済～

定員／70名

受講料／2,000円(全2回)

英国の理性が EU 残留を選択すると期待された国民投票。結果は世界を仰天させる EU 離脱に!世界の政治経済の不確実性が一気に高まりました。欧州や中国経済の減速だけでなく、景気が懸念される内向き・孤立主義の米国がトランプ大統領なら、TPP 批准も日米安保体制も見直される可能性があります。一方で中国とロシアは蜜月を演出して欧米を牽制。私たちのお金や暮らしだけでなく、安全も保障されない時代が来るのか?気懸りです。

回	テーマ／講座日	内 容
1	五輪景気前にすでに失速か? どうなるアベノミクス 10月28日(金) 夜間 18:30~20:30	米国の景気回復は2009年春から8年目に入りました。英国がEU離脱へ歴史的な選択を行った結果、環境は激変して世界の政治経済はリスクの海に漂流しています。潜在経済成長率がほぼ0%の日本経済を展望します。
2	活用するための金融商品研究 10月29日(土) 午前 10:00~12:00	多彩な金融商品を知ってはいても利用しない方が多い現実。財産形成は早く始めて、時間を味方につけるのが肝心。今、歴史的な局面にいても『行動なくして理論なし』、一歩前進するための課題を克服します。

講師／札幌学院大学大学院非常勤講師 白根 壽晴

講師紹介

白根 壽晴(しらね としはる) 1954年東京都生まれ。早稲田大学法学部を卒業後、住友電気工業(株)を経て税理士登録。97年にエフピーインテリジェンス設立。現、代表取締役。ライフプランに基づくコンサルティングや執筆、大学や金融機関での講演活動など幅広く活躍。資産運用アドバイスに強いFPとして定評がある。『オーナー社長の資産戦略と実務』『定年後のお金全疑問45』など著書も多数。日本FP協会理事長 CFP®・税理士。

講座番号

7 画家たちのあこがれ

定員／70名

受講料／3,000円(全3回)

全く異なる西洋と日本の美術。長い歴史の中で、その異国の文化がお互いに影響を受けながら新たな出発をした時代があります。今回の講座では、その時代に焦点をあて、それぞれの作品の特徴や画家たちの思いについて考えます。

回	テーマ／講座日	内 容
1	ジャポン、その魅力 10月12日(水) 夜間 18:30~20:30	19世紀後半、ヨーロッパ各地で日本の作品が知られるようになりました。マネ、モネ、ゴッホなどの画家たちは日本へのあこがれを募らせます。当時の時代背景からその理由や作品の影響を探ります。
2	洋画家誕生 10月19日(水) 夜間 18:30~20:30	明治時代、西洋の絵画が日本へ紹介されるようになりました。今までの日本絵画では考えられなかった西洋の絵画や技法に日本画壇は衝撃を受けます。高橋由一、黒田清輝、青木繁などの画家たちはどのような思いで西洋の絵画を学んだのでしょうか。
3	あこがれからの出発 10月26日(水) 夜間 18:30~20:30	西洋が日本に、日本が西洋に…お互いに影響を受けながら、更に独自の文化へと形を変えていきます。それぞれの絵画の特徴を比較しながら考えます。

講師／画家 美術講師 守分 美佳

講師紹介

守分 美佳(もりわけ みか) 北海道教育大学特設美術課程卒業。札幌を中心に中学・高校・大学などで美術教育に携わる。作家として個展を開催する傍ら、本の装幀(かもがわ出版、透土社など)、演奏会・舞台などの広告デザイン、CDジャケットデザイン、店舗ロゴデザインなどの制作も手がける。

講座番号

8

「特別支援教育の視点から考える今日の教育と子育ての課題」 —発達障害概念は家庭教育、社会教育、学校教育をどう変えたのか—

定員 / 50名

受講料 / 4,000円(全4回)

障害のある児童生徒の教育が特殊教育から特別支援教育に変わって10年ほどが経過しました。特別支援教育への転換には、発達障害という概念の導入が大きな役割を果たしましたが、その概念は曖昧であり混乱しています。また、この間に社会情勢は大きく変化し、学校教育の課題は多様化し、地域や家庭における子育ても、困難さが増加しているように思われます。

本講座は、発達障害、虐待・愛着障害、不登校・ひきこもり、触法行為など、今日の子育ての困難さについて、特別支援教育の視点から、解決への方策を考えてみようという試みです。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	自身の抱える愛着障害性と どのように向き合い克服するか 11月10日(木) 夜間 18:30~20:30	親に捨てられたトラウマが学びの原動力になりました。大学では多くのキーワードに出会い、自己教育の道を拓くことができました。新しい出会いと経験、創造的な活動がより良い(記憶)になっていくのです。 ゲストスピーカー / 札幌学院大学人文学部人間科学科4年 子ども食堂“ここなつ”学生代表 二本松 一将 コーディネーター / 札幌学院大学人文学部教授 二通 諭
2	発達障がいがある子どもと その家族を支える 11月17日(木) 夜間 18:30~20:30	発達障がいと関連する事象のうち、不登校、ひきこもり、精神科入院、触法行為と、その際の家族支援に焦点を定めます。これらを語る時、発達障がいについての知識は何に役立ち、何に役立たないのでしょうか。 講師 / 札幌学院大学人文学部准教授 山本 彩 コーディネーター / 札幌学院大学人文学部教授 佐藤 満
3	児童相談所と児童福祉施設の 現状から、今の子育ての課題を探る 11月24日(木) 夜間 18:30~20:30	長らく児童相談所に勤務し、現在児童養護施設長をされている方から、現代の子育てを巡る課題について事例を通したお話をお聞かせします。 ゲストスピーカー / 児童養護施設南藻園園長 大場 信一 コーディネーター / 札幌学院大学人文学部教授 塩見 啓一
4	10年目を迎えようとする 特別支援教育がもたらしたものと 子育てのこれから 12月1日(木) 夜間 18:30~20:30	知的障害通園施設の現状から、急速な時代の変化が、子育てにどのような変化をもたらしているのかを検討してみます。 ゲストスピーカー / 知的障害通園施設むぎのこ園長 北川 聡子 コーディネーター / 塩見 啓一

講師
紹介

二本松 一将(にほんまつ かずまさ) 1994年7月17日生まれ。東京都出身。16歳の誕生日に両親が離婚。父親についていくも関係がうまくいかず、大学進学は北海道を選択。大学進学後、自身に愛着障害性があることを発見。現在は子ども食堂“ここなつ”の学生代表を務め、奨学金問題に関心をもっている。就職活動中。

山本 彩(やまもと あや) 1974年生まれ。北海道大学、北海道医療大学大学院、北海道大学大学院博士課程終了(教育学博士)。臨床心理士、精神保健福祉士。精神科、スクールカウンセラー、発達障害者支援センター等の勤務を経て、平成27年度から札幌学院大学准教授。現在も福祉・司法領域中心に実践と研究継続中。

二通 諭(につう さとし) 1951年札幌郡手稲町で生まれる。1974年に北海道教育大学札幌分校を卒業し、石狩管内の小中学校で35年間の教員生活を送る。2009年から札幌学院大学の教員として主に特別支援教育関連科目を担当。単著に『映画で学ぶ特別支援教育』、『特別支援教育時代の光り輝く映画たち』、編著書に『特別支援教育コーディネーター必携ハンドブック』、『障害児の教育権保障と教育実践の課題 養護学校義務制実施に向けた取り組みに学びながら』。

佐藤 満(さとう みつる) 1953年苫小牧市生まれ。日本社会事業大学卒業、北海道教育大学札幌校修士課程修了、特別支援学校教諭、福祉分野ではグループホームサービス管理責任者など、現在札幌学院大学で特別支援教育関連科目(肢体不自由教育など)を担当している。

講師
紹介

大場 信一(おおば しんいち) 1950年札幌生まれ。北星学園大学社会福祉学科卒。釧路児童相談所長、旭川児童相談所長、北海道立向陽学院長、中央児童相談所長を歴任。現在、鉄道弘済会 札幌南藻園長。北海道子ども学会会長、北海道における子どもの社会的養護を考える会アドバイザー、北海道福祉サービス第三者評価推進機構基準等委員会委員、全国児童養護施設協議会常任協議員、北海道ファミリーホーム協議会顧問、NPO法人レラピリカ子どもシェルター理事。

北川 聡子(きたがわ さとこ) 1983年に妻の子学園(現むぎのこ児童発達支援センター)を大学卒業直後4人で設立。現在、社会福祉法人妻の子会総合施設長、札幌市自立支援協議会子ども部会長、全国知的障害福祉協会発達支援部会部会長、日本ファミリーホーム協議会副会長。障害児・社会的養護の必要な子ども等困り感のある子どもの幸せのために全国を飛び回っている。

塩見 啓一(しおみ けいいち) 1950年札幌生まれ。北海道教育大学札幌分校卒、兵庫教育大学大学院修了。養護学校教員、北海道教育委員会指導主事、主査、主幹、特別支援教育センター所長を歴任し、養護学校校長で退職。現在、札幌学院大学で特別支援教育関連科目を担当している。



講座番号

9

古代の日朝関係の史跡を歩く

定員 / 70名

受講料 / 4,000円(全4回)

言うまでもなく、韓国は日本の隣国のなかでも有史以来最も関係が深い国です。特に奈良時代前後は朝鮮半島から多くの渡来人が来日して、我が国にさまざまな技術や文化を伝えました。古代の日朝関係が想像以上に濃密であったことは、『日本書紀』などを見れば明らかです。本講座では、古代の日朝関係を示す四つのテーマを取り上げ、現地取材した映像をもとに、これらの伝説と史跡を紹介します。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	天日槍の伝説をたずねて 11月18日(金) 夜間 18:30~20:30	『日本書紀』などの歴史書には、新羅から「天日槍」の集団が来日したという伝説が語られており、実際にその史跡が西日本の各地に多数残されています。その伝説と史跡をさぐります。
2	秦一族と秦河勝の謎 11月25日(金) 夜間 18:30~20:30	秦河勝とは聖徳太子がその右腕とした渡来人であり、秦一族の史跡も西日本の各地に残されています。彼らはいどこからやってきてどんな功績を残したのか、その謎を考えます。
3	高麗の里に残る若光の史跡をたずねて 12月2日(金) 夜間 18:30~20:30	記録によれば、大和朝廷は716年に関東一円の渡来人集団を武蔵の国に住まわせ、高麗王若光を郡長としました。彼らが住んだ高麗の里は今年開基1300年を迎えます。その里を訪ねます。
4	百済王敬福と東大寺大仏建立をめぐる 12月9日(金) 夜間 18:30~20:30	敬福とは百済系渡来人の子孫であり、陸奥守として東北の経営を任せられました。東大寺大仏建立のさいには陸奥の黄金九百両を献じ、危機を救ったといわれます。その足跡をたどります。

講師 / 札幌学院大学名誉教授 奥谷 浩一

講師紹介

奥谷 浩一(おくや こういち) 1946年生まれ。北海道大学大学院文学研究科博士課程修了。現、札幌学院大学名誉教授。同大学前学長。単著に『哲学的人間学の系譜』、『ハイデガーの弁明』、『生命の共生と社会的共同の倫理学』、共著に『ヘーゲル事典』。本学コミュニティ・カレッジ講座の開講・運営に貢献。2012年北海道社会貢献賞受賞。



市民セミナー

講座番号

10

まちの活性化をめぐる

定員 / 30名

受講料 / 3,000円(全3回)

地方創生(まち・ひと・しごと)が国の政策として自治体に影響を及ぼしています。実際上は、国が何か自治体してくれるわけではなく、自治体側が自らの発想と努力によらなければ地域の活性化は実現できません。まちの活性化とはどんな状態をいうのか、その状態にするにはどのようなことが可能かを考えます。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	まちの活性化とは 11月2日(水) 夜間 18:30~20:30	どんな状態になればまちは活性化していると言えるのかを考えます。
2	地域は競争社会に耐えうるか 11月9日(水) 夜間 18:30~20:30	リゾート開発や交通網の整備など地域の活性化に役立つと考えられた政策が必ずしも成功しなかった原因を考えます。
3	まちの活性化のために何ができるか 11月16日(水) 夜間 18:30~20:30	まちの活性化のためには、住民・経済界・役所などの連携協力が不可欠です。どのような連携が可能かを考えます。

講師 / 北海学園大学法学部教授 佐藤 克廣

講師紹介

佐藤 克廣(さとう かつひろ) 1954年秋田県生まれ。中央大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。北海学園大学法学部教授・大学院法学研究科長。(公社)北海道地方自治研究所理事長。著書・論文に、『市町村行政改革の方向性』、『道州制の論点と北海道』、『ホーンブック 基礎行政学』(共著)他多数。

講座番号

11

社会学入門 —現代の生きづらさを考える—

定員 / 30名

受講料 / 3,000円(全3回)

現在多くの人にとって、自己を確立し、日々元気で生き生きと活躍することが非常にむずかしくなりつつあるのではないのでしょうか。そのことは、生きづらさとして実感されているのです。では、社会全体でみると経済的には豊かになったと言われている日本社会の中で、なぜ生きづらさという実感が広がっているのでしょうか。今回、社会学はこの現代社会の生きづらさの問題をどのように読み解くことができるのかを試みてみたいと思います。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	人間関係分析法としての感情コミュニケーション 10月12日(水) 夜間 18:30~20:30	現代社会の生きづらさの問題を分析するための社会学の基礎的視点を確認します。それは、日常生活におけるミクロな人間関係と人々の精神生活を分析するための感情コミュニケーション法です。
2	市場経済社会としての現代社会の基本的性格 10月19日(水) 夜間 18:30~20:30	社会学は、個人と社会との関係を「つくりつくれる」関係と見ます。そこで、現代社会の個人と社会との間の「つくりつくれる」関係とはどのようなものかを考えます。
3	現代社会を生き生きと生きる 10月26日(水) 夜間 18:30~20:30	生きづらさが蔓延している現代社会においても、他者とともに協力・協働し、元気で生き生きと生きている人たちがいます。それはどのような人たちで、どのような生活なのかを見てみることにします。

講師 / 札幌学院大学人文学部教授 内田 司

講師紹介

内田 司(うちだ つかさ) 1950年生まれ。東北大学大学院教育学研究科博士課程修了。現、札幌学院大学教授。著書に『理性、感情、諸個人の自律』や『現代社会と感情コミュニケーション』等がある。

講座番号

12

対人コミュニケーションに活かす 動機づけ面接法(MI)とコーチング

定員/24名

受講料/12,000円(全3回)

本講座ではコミュニケーションエラーの背景を整理し、どのように相手と関わり、相手の自己成長や自己決定を促していくのか、という点について動機づけ面接法とコーチングという2つの面談スタイルの統合から話題を提供したいと思います。どうしてこの人は行動を変えないのだろうか？

何度繰り返し説明しても伝わらない、このようなコミュニケーションの課題を抱えている方々にとっては、解決の一つの糸口になると思います。

《受講対象について》この講座は動機づけ面接法とコーチングの両方を学ぶことのできる数少ないセミナーです。演習中心に進めますので少人数で行ないます。仕事(中間管理職等)や子育ての中で、どのように部下やこどもの「やる気」を引き出そうかと悩んだり迷っている方に参加していただくような内容で行う予定です。定員を超えた場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

回	テーマ/講座日	内容
1	コミュニケーションエラーの背景理解 11月9日(水) 夜間 19:00~20:30	コミュニケーションエラーの背景理解。行動が変わらないのは、本人のやる気の問題なのだろうか？ 本人のやる気を引き出す面談とやる気を失う面談の違いについて説明します。
2	相手のやる気を引き出すためのコミュニケーションスタイル 11月16日(水) 夜間 19:00~20:30	相手のやる気を引き出すためのコミュニケーションスタイル。会話のスタイルによって目の前の人の言動が変わります。相手のやる気や動機を引き出すための会話スタイルについて説明します。
3	相手の自己決定や自己成長を促す 11月30日(水) 夜間 19:00~20:30	相手の自己決定や自己成長を促すための会話の継続と具体的な行動目標の設定について説明します。

講師/札幌学院大学人文学部こども発達学科教授 北田 雅子

講師紹介

北田 雅子(きただ まさこ) PhD(医学博士) 札幌学院大学人文学部こども発達学科教授。動機づけ面接法国際トレーナー。健康教育、健康科学、ヘルスポモーションが専門。現在は、対人援助職のストレスマネジメントを中心に調査研究中。



講座番号

13

札幌市と近郊のフットパスの今

定員/40名

受講料/2,100円(全2回)

日本中に拡散中のフットパス。北海道は日本の中での先進地にもなっています。現在、北海道のフットパスは、ひとつの市町村の中にあつたフットパスから、隣接する市町村または振興局をまたいでロングパス化がトレンドになってきています。札幌市のロングパスや札幌からつながるいくつかのルートを取り上げつつ、各地での取り組みや札幌市内でも盛り上がってきているフットパス活動にもスポットを当てます。

回	テーマ/講座日	内容
1	札幌市と近郊のフットパスの今 10月20日(木) 夜間 18:30~20:30	1992年に始まったエコ・ウォーキングを通じて札幌市内で数十コースを開拓しました。それがのちのフットパス、さらには周回パス、ロングパスへと発展しました。魅力あるコースを紹介するとともに市内各地で始まったフットパス活動について報告します。
2	フットパスウォーク【大麻駅周回】 10月22日(土) 10:00~14:00予定	江別市のJR大麻駅を起終点に野幌森林公園や江別市内のフットパス適地を歩きます。昼食は札幌学院大学の学生食堂でとります。約10km。

*雨天決行。時間は予定です。集合場所等は座学でお知らせします。

〈参加条件〉健康で長時間歩くことが可能な方。

講師/エコ・ネットワーク代表代行 小川 浩一郎 講師/札幌学院大学非常勤講師 エコ・ネットワーク代表 小川 巖

講師紹介

小川 浩一郎(おがわ こういちろう) 1980年生まれ。株式会社ジオ代表取締役、エコ・ネットワーク代表代行。北海道科学大学客員准教授。各地でフットパスの普及活動、イベント開催、プロデュース等を行っている。著書『北海道フットパスガイド①』『北海道フットパスガイド②』

小川 巖(おがわ いわお) 1945年生まれ。北海道大学大学院農学研究科修了。札幌学院大学非常勤講師。エコ・ネットワーク代表。フットパス・ネットワーク北海道事務局長。著書『あなたはクマやハチと共存できますか?』『フットパスに魅せられて—私のフットパス遍歴—』他。



お申し込みから受講までの流れ

①【申込期間】

8月25日(木)～9月8日(木)必着

※応募者多数の場合は、抽選となります。
※受講希望者が開講予定人数に満たない場合は、開講しないことがあります。

②【申込方法】

申込は、①インターネット ②FAX ③ハガキでのいずれかになります。※電話による申込はできません。

- ①インターネットの場合 …… http://www.sgu.ac.jp/rcc
- ②FAXの場合 …… FAX番号:011-261-1230
- ③ハガキの場合 …… あて先:〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目
札幌学院大学社会連携センタービル「コミュニティ・カレッジ」係

③【結果通知】

9月15日(木)以降に申込者全員に封書で通知いたします。

※受講いただける方には、「受講確定通知書」と「受講料の振込み用紙」をお送りいたします。
※応募者多数の場合の抽選結果(受講できない場合)は、封書でお知らせいたします。
(抽選では、はじめての方を優先する場合がありますので、ご承知下さい。)
※受講者が予定人数に満たず、開講できない場合は、講座中止のお知らせをお送りいたします。
※9月23日(金)までに受講に関する通知が届かない場合は、お問い合わせ下さい。

④【受講料の支払方法・受講確定】

受講料は、「受講確定通知書」に記載された金額を郵便局または銀行からお振込みください。受講料の振込みによって正式に受講確定とさせていただきます。振込みが確認できない場合は受講できませんので、指定された期日までに必ずお振込みください。振込みの控は、講座が終了するまで大切に保管してください。

⑤【開講日・受講上の注意】

「受講確定通知書」に、講座の開始日が記載されています。講座開始日に社会連携センター2階受付にお越しください。
受講料をお振込みいただいた方には、あらかじめ開講日のご案内はいたしませんのでご承知願います。
各講座の全日程は、パンフレットあるいは大学のホームページにてご覧下さい。
※お子様連れでの受講はご遠慮ください。
※受講生用の駐車場はありません。
○開講場所:札幌市中央区大通西6丁目(南大通に面しています)
○講座当日は、札幌学院大学社会連携センタービル2階にて受付を行います。

【キャンセルに関して】

原則としてキャンセルはできません。ただし、やむを得ない事情によりキャンセルを希望する場合は、「受講確定通知書」に記載された受講料支払期限前までに必ずご連絡下さい。[TEL:011-280-1581]
お支払いいただいた受講料は、返金できかねますのでご了承下さい。

お申し込み前に必ずお読み下さい。 ●窓口時間/13時～20時(月～金) ※土曜日/10時～20時

- 札幌学院大学「コミュニティ・カレッジ」は、高校生以上であればどなたでも受講できます。
- 申込者以外の方は受講できません。
- 本学「コミュニティ・カレッジ」の講座は、「道民カレッジ」講座と連携しております。
- 受講生は自動的に「コミュニティ・カレッジ」の会員として登録されます。
- 都合により担当講師が変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 札幌学院大学図書館の利用(閲覧・貸出)ができます。
- 札幌学院大学(その前身の札幌文科専門学院、札幌短期大学、札幌商科大学を含む)の同窓生ご本人と、在学生のご両親の方々には、受講料特別割引制度があります(ただし、教材費、バス代などは除きます)。その旨、お申し込み時に明示してください。お申し込み時に明示なき場合は、割引制度をご利用いただけません。〔外国語講座と資格対策関係講座は2割引、それ以外の講座は5割引で受講できます。〕
- 講座会場は主に3～4階になります。会場への移動は階段の利用になりますので、ご承知下さい。(エレベーターはありません)
- ご提供いただきました個人情報は、今後の講座や札幌学院大学のイベント等をご案内する目的以外には使用いたしません。

お申し込み方法

1. ハガキ・FAXによるお申し込みは、◎に示す項目を記載のうえ、下記あて先にお送りください。

宛先 [ハガキ] 〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目
札幌学院大学社会連携センタービル「コミュニティ・カレッジ」係
[FAX] FAX番号 011-261-1230

- ◎ハガキ・FAX用紙に記載する事項は下記の全ての項目です。なお、記入漏れなどがあると受付処理等ができませんのでご注意ください。お間違えのないようご記入願います。
- ◎第2・第3希望のお申し込みは受付けておりません。

〈はがき用切り取り線〉

講座番号	講座名 (※複数記入可)	
フリガナ		
氏名		
〒	—	電話番号 ()
住所		
年齢	歳	職業
コミュニティ・カレッジを受講したことがありますか		はい or いいえ
同窓生本人	卒業年()年()	学部) 旧姓()
在学生の両親	在学生氏名 () 学部) 年)	
コミュニティ・カレッジ講座を何で知りましたか? (○をつけてください)		
①本学の案内 ②区役所、区民センター ③図書館		
④道民カレッジ ⑤友人・知人		
⑥その他()		

2. ホームページから申し込む場合はこちらからお申し込み下さい <http://www.sgu.ac.jp/rcc/>